

# 新学習指導要領に基づく教育課程の編成と実践

## ～未来からの挑戦を受けて～

玉野市立玉野商業高等学校教諭 福岡 明広

### I はじめに

本校は、古来から四国と本州を結ぶ海上交通の要衝として、また過去には造船業を中心に繁栄を極めた岡山県南端の玉野市に位置し、国立公園内の王子が岳は巨大奇岩の点在する風光明媚な景勝地でもあり、明るい環境の中に立地していると言える。

校訓に、誇り (Pride) ゆとり (Placidity) 粘り (Perseverance) を掲げ、昭和32年4月に岡山県玉野市立商業高等学校として設立された本校も、本年度創立45周年目を迎えている。伝統ある商業科に加えて、平成7年には情報ビジネス科が新設され、現在は各学年に商業科3クラス、情報ビジネス科2クラスがあり、600名の生徒が在籍する中規模商業高校として情報化・国際化・サービス経済化社会に対応できる人材の育成に取り組んでいる。

### II 新学習指導要領に基づく教育課程の編成と実践

#### 1 特色ある教育課程を編成

「特色ある教育」「特色ある学校づくり」というキーワードは、昭和58年11月に公示された中央教育審議会教育内容等小委員会やその翌年に設置された臨時教育審議会の答申に表れており、教育課程を編成する上で、意図的・組織的に創り出される顕在的文化の側面と人間関係・校風や雰囲気といった潜在的な文化を基底とした学校の個性をどう創り進めるか、という学校経営的な視点が込められている。つまり、地域、学校、および生徒の実態等を正確に把握し各学校の課題実現に向けた教育課程を積み上げることである。また、特色づくりは、違いづくりを目的とするのではなく、独自の取り組みを通して結果として現れてくるものであると考える。

##### (1) 生徒の現状把握

大半の生徒は、商業高校にその「専門性」を求めて入学している。しかし、簿記や会計の資格があれば、事務職に就ける現代ではない。生徒の進路は多様化し、社会が商業高校で学ぶ生徒に求めるものも

変容している。感覚的にこれを察知した生徒は、専修学校でより上級の資格を取得する路よりも、大学への進学を選んでおり、コミュニケーション能力をもっと伸ばす必要を切実に感じ取っている。

本校における生徒の満足度は高いが、その内実は楽観を許さない。生徒の薄れゆく「学習意欲」を、どうにもできないでいる我々指導者は、その責任を痛感する。選択授業を細分化し、生徒の多様なニーズに形としては応えているが、「しなくてもできる」生徒の能力を伸ばしてはいない。「努力してもできない」生徒のフォローができていない。専門資格のみならず、より多くの内容を習得したいと感じている、前向きな生徒のやる気を活かし得る、さまざまな取り組みが必要となる所以である。

##### (2) 新しい学習指導要領の基本的なねらい

また、新学習指導要領の基本的なねらいは、完全学校週5日制の下、「ゆとり」の中で「特色ある教育」を展開し、生徒たちに学習指導要領が示す基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせることはもとより、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」を育む。そのため「教える学校から学ぶ学校」へと「学校像の転換」を求め、「能力・適性に応じた養育の必要性」の観点から、「形式的な平等の重視から個性の尊重への転換」が必要とされている。

- ① 生きる力
- ② 学校・家庭・地域の総合力
- ③ 生きる力とゆとり
- ④ 生きる力を育てる体験学習の重視
- ⑤ 教育内容の厳選
- ⑥ 個に応じた指導の充実
- ⑦ 選択学習の幅の拡大

#### 2 実践報告 (本校での取り組み)

(1) 既存科目での挑戦！「コンピュータグラフィックス」によるITボランティア

地域社会と学校の間で、もちつもたれつの関係を維持しつつ、開かれた学校づくりの延長上に位置付

け、生徒に模擬就業体験（HPクリエイター業）を通して、実際のビジネスで求められる能力や態度、知識を直接感じ取らせることで、学校で習得した知識や技術を深め、総合化し、当面する課題解決のために地域の方々とコミュニケーションをとりつつ、創造性を生かし、前向きに自己発展させる態度を身に付けさせることを目的とする。ねらいは次の3点である。また、ボランティア教育の一環としての位置付けでもある。

- ① 個人で楽しむHP作成による基礎的・基本的な知識・技能の習得にとどまらず、より現実に行われている形で体得させ、実社会での商業活動に対応できる能力を養う。
- ② 「自ら考え、実行し、自らの力で解決する」という自主的な活動を通じて、自分たちの住む地域の産業を知り、その在り方を考え、地域の繁栄と活性化に貢献できる力を養う。
- ③ 外部との幅広い交流により、より高いコミュニケーション能力を養う。



## (2) 新教科への挑戦！「総合的な学習の時間」を踏まえた「課題研究」

平成11年中央教育審議会から「ゆとりの中で生きる力をはぐくむことを重視する」ことが提言された。現状では、この「生きる力」の育成を図ることが重要な柱であり、専門教育で特色のある科目が「課題研究」と考えられる。このような特性をもった科目「課題研究」であるにもかかわらず、生徒の実態に応じて一人ひとりの生徒の個性の発見と伸長に努めながら、生徒がこの科目の学習を通じて厳しさを知り、成就感を実感できるような指導を実践していただろうか。指導者の綿密な指導計画と熱意や愛情が

支えとなっていたらどうか。

PDCA（Plan→Do→Check→Action）の原理に基づき、生徒が「課題研究」に取り組む中で、教師が適切な支援をすれば、生徒の思考力、表現力、創造力が高まり、生徒が自ら考え、主体的に行動するようになり、それが自発的・創造的な学習態度を養い、問題解決能力を培うことになる。またひいては、進路意識も高まり、ガイダンス機能の充実にもつながると考える。この仮説を立証すべく、今一度指導者としての原点に戻り、2年生1単位+3年生2単位の「課題研究」の新たな展開の実践を、「総合的な学習の時間」を踏まえて試みた。

その結果、「課題研究」2年生1単位を「総合的な学習の時間」として位置付け、1年生で展開する「ビジネス基礎」を加えることにより、これまでの進路指導で課題とされてきた「進路指導の時間の確保」や「進路指導の学習としての位置付け」が可能となり、ガイダンス機能の充実した教育システムを構築することができる。

そのため、高等学校在学中の生徒の取り組みを活性化させるだけではなく、将来にわたる力を身につけさせることができるようになる。自らの生きる力をじっくりと考察させたいという進路選択であるがゆえに、進路先での取り組みもおおざらになってしまう。さらに高校時代に身につけた問題解決能力は、卒業後の進路先でのさまざまな「選択」の機会や困難に立ち向かったときにも、役立つものと思われる。

## (3) 新科目への挑戦！学校設定科目「ビジネス基礎」

平成11年3月の学習指導要領改訂に伴い、教科「商業」の基礎的な科目「ビジネス基礎」が新設された。この科目は、単なる「流通経済」の後継科目ではなく、展開にあたっては、「ビジネス基礎」担当者の倫理観とマナーが不可欠であり、科目の特性からビジネス教育の生命線を担うものであると考える。また、教育内容についていえば、それぞれの学校の実情、生徒の気質や地域性を踏まえ、各担当者の力量が生かせる科目であり、学習への創意工夫が不可欠といえる。この科目の指導に当たっては、商業を学ぶ目的と学び方を指導するとともに、商業の各分野について特色や科目の内容について触れ、商業の学習の動機付けを図ることを最重要視している。そのため、次の5項目に留意しながら、教科書には

とらわれず、「教科書を教える」指導から、創意工夫で「教科書で教える」スタンスでの展開が望ましい。また、章立てはあるものの、展開順は各学校の実情、生徒の気質や地域性を優先したものでよいと考えられる。

指導上の留意点としては、

①視野を広くもつこと（グローバルアイ）

日本だけにとらわれないで世界に目を向けること

②創造性を培うこと

起業・ビジネスチャンスは新しい発想から始まること

③将来を見据えること（社会的利益志向＝倫理観）

環境問題やエネルギー問題と向き合って今後のビジネスの在り方を考えること

④協調性に富むこと

コミュニケーション能力の育成をはかること

⑤主体性をもたせること

気づきを大切にすること

であり、創意工夫を考えてビジネスを視点にした効果的な指導方法としては、①スクラップ（新聞の切り抜き）、②ビジネスゲーム（シミュレート）、③マルチメディアプロジェクト（調べ学習）、④ケーススタディ（事例研究）、⑤サマリー（要約）が考えられる。

（４）起業家教育に挑戦！スチューデント・ベンチャー・プロジェクト(Student Venture Project)

このスチューデント・ベンチャー・プロジェクトのねらいは、起業家教育を踏まえて「課題研究」を試みたものである。といて単に会社ごっこを行い、お金を儲けることを行うのではなく、企業経営を体験する中で、何が問題なのか、その問題を解決するためにはどうしたらよいかを考える力を養うことである。現場実習グループを４グループに分け、各グループで社長を選任し、わずかな資本金で株式会社を設立し、営業部長・生産部長・人事部長・財務部長の役割を分担し、事業計画書の作成、計画書に従って商品の企画・開発、商品生産、商品販売、株主総会という流れで行うことである。ここで重要なのは商品の生産で、単に仕入れて売るだけではなく、企業理念に従ったオリジナル商品を企画し、地元支援業者を探し、共同開発することである。

「課題研究」の現場実習グループが31名に対して、5名の教師が関わっている。この科目の特性から、教師自身がこれまでのように知識を効率よく教え込

むのではなく、生徒が自ら学ぶように動機付けし、生徒の主体的な学習を側面から支援する。つまり、意図的に生徒に任せ、生徒自身の自助努力を期待して見守るというスタンスの指導技術である。

そのため「支援」とは、「耐える」ことであり、「あしなさい」と指示すればすぐ済むことを、それを言わずに我慢して、生徒自身が「こうすればいいんだな」と気づくよう、教師が仕向け、言いたくても言わずに、間接的に指導することである。

具体的には、

①「助言」、②「開かれた発問」、③「雰囲気」、

④「励まし・肯定的評価」

ということである。

また、起業家教育のような取り組みでの教師の「支援」は、コンサルティングやカウンセリング的な役割となる。

しかしながら、初めての取り組みのため、担当者は困惑し悪戦苦闘していた。が、地元商工会議所青年部から思いがけない支援をしたいとの要望があり、外部コンサルティングの誕生を見た。

外部コンサルティングは、地元商店会街の社長さんたちで週に一度開催され、「経営とは」「販売促進とは」などというテーマで行われた。その際に、このプロジェクトの趣旨や本校の教育活動に深いご理解をいただいた上でのコンサルティングをお願いした。

その結果、教師では気づかないことや気づかせにくいことが、外部コンサルティングのおかげで発見できた。

わずかではあるが利益を得たのは緻密に計画を立てて生産し、市場をよく考えて販売を実施し、組織間のコミュニケーションを密にして皆で協力し合って活動を行なった成果の表れである。その結果、起業することの苦勞と組織の中でのチームワークの大切さを痛感している。また、事業計画の段階では考えられないトラブル発生にも物怖じせず取り組んだことが、その都度に感じた他人への思いやりの大切さ、感謝することの大切さ、責任のある行動の大切さ、働くということの意味などが体得でき、わずかながらの自信がわいたのではないかと推察する。

結局このような取り組みで重要なのはその活動プロセスであり、失敗や成功を繰り返していくうちにそこから多くの教訓を学びとることなのである。しかも「利益追求ではなく生徒達が多く気づきや発

見をし、学習できるようにする」ことが必要である。

### Ⅲ おわりに

このような実践に取り組むことには、母親が子どもを産むような辛さがともなう。いわば、手間暇が想像以上にかかるのである。しかしながら、「労せずして事はなし得ない」という言葉のとおり、苦勞しないで生徒たちに「気づき」を与えることは無理なのである。

結局、今大切なのは、①やる・わかる授業の創造や仕掛け、②知恵と工夫の生きる力の涵養、③そのための教職員の意識改革である。しっかりとした教育課程の編成をすることはもちろん大事であるが、その教育課程を積み上げていくプロセスで、預かっているこの子ども達を3年間でどう育てたいのか？どんな力をつけてやりたいのか？を考える必要がある。

また、このダイナミズムな経済の中で、私たち指導者としても、知識+課題設定能力+問題解決能力+自己評価能力=Plan-Do-Check-Actionのサイクルを持つ必要があり、生徒には、自らが目で見



て、耳で聞き、頭で考え、責任ある行動がとれる能力を涵養する教育システムの構築を絶えず考えていく必要がある。そして、その構築された教育システムを学校全体でチームとして取り組むことが重要である。私を含めて、指導者の意識改革というもの、なかなか教師自らが意識改革を図りきれていないのが現状であるが、時代の変化に柔軟に対応し、自ら学び自ら考え判断できる生徒の育成に根気強く関わっていき、本校での出会いを大切に、夢を語り、カタチに出来るよう育み、感動を共有して、生徒とともに思い出多い高校生活を送りたいと今思う。

**大好評！**

## じっきょうのパソコン実習用テキスト 30時間でマスターシリーズ

WindowsXP	定価580円
WindowsXP対応 OfficeXP (CD-ROM付)	定価1,100円
WindowsXP対応 Word&Excel2002	定価900円
WindowsXP対応 Word2002	定価900円
WindowsXP対応 Excel2002	定価900円
Excel VBA (CD-ROM付)	定価1,100円
Visual Basic (Ver.4~6対応)	定価870円
インターネットHTML編 (CD-ROM付)	定価720円
ホームページデザイン (CD-ROM付)	定価1,200円

ホームページ・ビルダーVer.6/6.5	定価750円
プレゼンテーション+Power Point2002 (CD-ROM付)	定価950円
Access2000 (CD-ROM付)	定価1,000円
Photoshop6.0 (CD-ROM付)	定価1,800円
Photoshop Elements (CD-ROM付)	定価1,200円
Paint Shop Pro7 (CD-ROM付)	定価1,200円
Windows98対応 一太郎10/11	定価900円
Windows95対応 ロータス1-2-3 97/98	定価900円